

国連WFPニュース



World Food Programme

wfp.org/jp



4人の娘と避難生活を送るウムさん

©WFP/Hani Al Homsh



ウムさんの4人の娘

©WFP/Hani Al Homsh



「デジタル食糧支援」で配布しているカード

©WFP

シリア紛争、5年目に ～一人一日、一ドルの支援が命を守る～

紛争が5年目に突入するシリア。終結の兆しは見え、国人口の実に半分以上に当たる1千万人以上が家を追われ、国内外で避難生活を送っています。そして、その数は増え続けています。国連WFPは去年、シリア国内で380万人、周辺国で190万人に食糧支援を行いました。

シリア国内では

ウムさんは、世界遺産の街アレppoで、布地屋を営む夫と4人の娘と幸せに暮らしていました。しかし街に戦争が迫ると、生活は一変。夫が死亡し、自宅も失いました。家族を守りたい一心で、ウムさんは衣服とわずかな現金を持ち、娘4人を連れてシリア国内を転々としてきました。ようやくより安全で物価が安い南西部の町にたどり着き、家を借りることができましたが、生活は困窮していました。そんな時、国連WFPから食糧支援を受けられることを知りました。今は、国連WFPによる穀物や缶詰、植物油などの配給で食べ物の6割を

まかない、近所の人から野菜や果物をももらったり、野草を採取したりして何とか生活しています。また、農家の手伝いでわずかな収入を得て、家賃や、厳冬を乗り切るための燃料費に充てています。しかし、子どもたちは経済的理由から学校には通っていません。

国連WFPは2015年、困窮家庭向けの食糧配給を最大425万人に行うほか、避難者が多い地域を中心に50万人の生徒に学校給食を届ける予定です。また、子どもや妊婦、授乳中の母親に対する栄養支援も強化します。

周辺国では

レバノン、ヨルダン、トルコ、イラク、エジプトに避難したシリア難民に対しては、主に「デジタル食糧支援」を行っています。これは、電子マネーの機能が付いたカードを配布し、毎月、食糧購入用の電子マネーを送金するというシステムです。シリア難民は、難民キャンプ内や街中にある提携食品店で、好きな食材を買うこ

とができます。肉や魚、卵、野菜などの生鮮食品も手に入られます。国連WFPは昨年12月、資金不足から、シリア難民170万人への食糧支援の中断に追い込まれました。緊急の資金要請が功を奏し、活動は再開されましたが、難民への支援は以前よりも3割減らさざるを得ませんでした。2015年は、新たに100万人のシリア難民が周辺国に逃れてくると推定されています。国連WFPは、一番困っている家庭に支援を絞り、5カ国で200万人のシリア難民を支援する予定です。

シリア人への食糧支援にかかる費用は、一人一日あたり約100円あまり。活動全体では毎週、およそ38億円がかかりますが、国連WFPはその全てを、各国政府や企業、個人等からの寄付金でまかっています。支援が停止すれば、戦火のシリアに戻らざるを得ないという声も聞かれます。皆様の温かいご支援を引き続きよろしくお願いいたします。

知花くらら国連WFP日本大使 ヨルダンのシリア難民支援を視察

2014年10月末、国連WFP日本大使でモデルの知花くららさんがヨルダンを訪れ、国連WFPのシリア難民への緊急支援活動を視察しました。知花さんにとって、緊急支援活動の視察は初めてです。その時の写真の一部をご紹介します。



知花さんが訪れたアズラック難民キャンプ。砂漠地帯にありシリア難民1万2千人が暮らしています。



パンの配給所。キャンプに住む難民には、一人一日あたり4枚ずつ、焼きたてのパンが配給されます。



難民キャンプに到着したばかりの家族。自宅の裏庭が爆撃され、武装勢力が村人を鞭打つ のを見て、避難を決意 したと言います。

(難民のプライバシー保護のため 画像の一部を加工しています。)



キャンプ内のスーパー。「デジタル食糧支援」を受ける難民は、国連WFP発行の食糧引換カードで好きな食

材を買い、「家庭の味」を作って日常を取り戻すことができます。難民を受け入れる側のヨルダンの経済活性化にもつながる一石二鳥の支援です。



キャンプに住むシリア難民一家。パンが50倍に値上がりし、戦闘の激化で息子が情緒不安定になったため避難したと言います。「私たちの人生は、今は、この小さな部屋がすべて」とご夫婦。

首都アンマンに住むシリア難民一家のご自宅も訪問。10人家族で生活は厳しく、国連WFPのデジタル食糧支援を受けています。娘さん(写真右)の夢は、先生になること。



「いつか国に戻る時のために、今、彼らが健康でいること、そして、学校に行き、教育を受けておくことが必要だと思います。」と知花さん。

国連WFPウェブサイトにも、更に多くの写真と訪問記を掲載しています。以下のリンク先からご覧下さい。

<http://ja.wfp.org/news/stories/15-1>

©WFP

知花さんにメッセージをいただきました。

「私は沖縄出身ですが、沖縄戦を生き抜いた祖父がつぶやいた、『命(ぬち)どう宝』(命こそ宝)という言葉はずっと思い出していました。助かった命は、これから大きな未来へとつながるのだと思います。子ども達の笑顔を守るために、ぜひ皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。」

ご寄付はこちらから

インターネットで

www.wfp.org/jp

WFP

検索

銀行から

三菱東京UFJ銀行 本店(店番001)

口座種類・番号：普通 0887110

口座名：トクヒ)コクレンWFPキョウカイ

手数料無料

※領収書発行につきましては、フリーダイヤルまでご連絡下さい。

ゆうちょ銀行

口座番号：00290-8-37418

加入者名：国連WFP協会

※通信欄に「シリア」とご記入下さい。

お電話で

クレジットカードによる募金を承っております。

0120-496-819

通話料
無料

受付時間 9:00-18:00 (年中無休)



住民が国連 WFP の支援を受けて再建した堤防 (バングラデシュ) ©WFP/Ranak Martin

3月14日～18日、仙台で第3回国連防災世界会議が開催されます。これは、災害に強い国や地域を作るための国際的な防災戦略について議論する国連主催の会議で、各国政府や国際機関、非政府組織、研究機関などが参加します。この会議は、過去2回とも、防災先進国である日本で開催され、3回目となる今回は、2015年以降の国際的な防災方針が話し合われます。

防災は世界の重要課題です。1992年からの20年間、世界では44億人、およそ3人に2人が災害で被災し、130万人が死亡しました。経済的損失は2兆米ドルに達します。

飢餓のない世界を作るには、防災が欠かせませ

せん。世界の飢餓人口の8割は災害が起きやすい環境に暮らしていますが、災害に対処するすべを持たず、更に深刻な貧困や飢餓に陥るといふ負の連鎖が繰り返されます。また、災害は食糧生産に打撃を与え、食糧危機につながります。

国連 WFP は、早期警戒システムで異常気象などの兆候を事前に察知しつつ、長期的な支援として、貯水設備の整備、森林再生などの支援を食糧支援と組み合わせて行っています。こうすることで、災害が起きても被害を最小限に食い止め、元の状態になるべく早く戻れるような回復力の高い強靱な社会を作っていくことができます。

私たちの国連WFP支援 株式会社ニコン

株式会社ニコンは、2006年から評議員として国連 WFP を支援しています。

国連 WFP では、2013年12月と2014年10月に現地の様子や支援活動を紹介する写真展を仙台で実施。その際、同社はニコンプラザ仙台の会場提供をはじめ、写真出力や会場設営等に協力しました。また2014年にはWFPウォーク・ザ・ワールドに協賛し、社員30名もウォークに参加しました。更に2014年末のエボラ熱緊急募金の際は150万円を国連 WFP に寄付しました。

これらの取組みに対し、ご担当の佐瀬美貴さんは「私たちのできる小さな積み重ねが国連 WFP の活動に少しでも役立てば、という思いで協力しています。写真が伝えるメッセージを受け取った方々の思い、ウォークに参加した社員ひとりひとりの思い、ひとつひとつは小さくても、そうした思いを積み重ねていける支援を続けていきたいです。」と話しています。



ニコンプラザ仙台の国連 WFP 写真展の様子

「RED CUP CAMPAIGN」レポート



国連 WFP では学校給食支援の輪を広げるため、「RED CUP CAMPAIGN」を展開しています。様々な企業が商品にレッドカップのマークを入れ、その売り上げの一部を寄付する取り組みを実施しています。

2014年12月以降、新たにキャンペーンに参加して下さった企業をご紹介します。現在進行中、並びに過去の事例はウェブサイト (www.redcup.jp) をご覧下さい。

株式会社ユニーク

パソコン用マウス等
(2014年12月～2015年11月)



株式会社ディノス・セシール

通販カタログ「and moi」(アンドモア)での商品購入 (2015年1月から)



株式会社中村屋

「技あり仕込みビーフカレー (中辛・濃厚リッチ)」
(2015年3月から2016年2月*順次パッケージ切り替え)



国連WFP協会 新任親善大使および顧問ご紹介

国連 WFP 協会では、2015 年 1 月より、新たに 1 名の親善大使および 3 名の顧問に就任いただきました。メッセージと共にご紹介いたします。

親善大使



三浦雄一郎さん (プロスキーヤー・冒険家)
80 歳エベレスト登頂、精根使い果たし、生きて山を下りてこれたのは、最終キャンプに残っていた僅かな食糧のおかげでした。食べることで心の芯に火が灯り、食事が人を幸せにして、夢の力を育みます。世界の子もたちが豊かな心で夢を紡げるよう、心より願っております。

顧問



生駒芳子さん (ファッション・ジャーナリスト)
地球を一つの家族と考えれば、飢えている子どもたちのことを、放っておくわけにはいきません。そのような気持ちから、国連 WFP の活動にはかねてより注目してきました。今後は顧問として更に、応援を重ねていければと思っております。



野口聡一さん (JAXA 宇宙飛行士)
このたび、国連 WFP 協会顧問に就任させて頂きました宇宙飛行士の野口聡一です。国連 WFP の活動には以前から興味を持っておりました。微力ではありますが、国連 WFP の意義と活動の様子を広く一般に伝えるお手伝いをさせて頂きましたら幸いです。



三浦豪太さん (プロスキーヤー・冒険家)
健康でいる為には<運動・食事・生きがい>ですが、人として幸せに生きるには安心して眠る場所があり、栄養のある食事がとれることが一番大切です。子どもたちが笑顔で元気に未来へ向かって走れるよう、応援していきます。

「WFPウォーク・ザ・ワールド」参加者募集



5 月 24 日 (日)、子どもたちの飢餓をなくすためのチャリティーウォーク「WFP ウォーク・ザ・ワールド」を横浜みなとみらいで開催します。今回は開催 10 回目となる記念大会。是非ご家族・ご友人を誘って参加下さい。

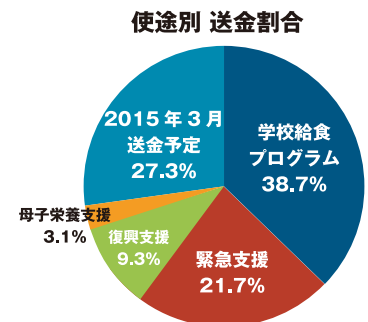
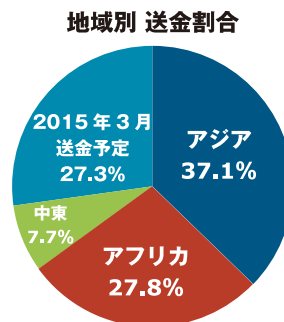
- 申込締切 **5月8日(金) (郵便振込) 5月14日(木) (ネット/電話)**
- お申込み
 - ①インターネットで www.sportsentry.ne.jp
スポーツエントリーホームページ内
 - ②お電話で ※通話料は利用者負担となります。
0570-550-846 スポーツエントリー内
(受付時間：平日10:00～17:30)
- お問い合わせ **0120-711-951** (スポーツエントリー内、受付時間：平日10:00～17:30)
- 詳細 www.walktheworld.jp

毎日 10km 歩いて水汲みに行く子ども達もいるそうですが、美しい景色を見ながらでも 10km は大変だと感じると共に、多くの参加者と歩くことで世界の飢餓に関心を向ける方々が沢山いることを実感し、心強く感じました。



国連WFP協会 2014年度 寄付収入と支出のご報告

2014 年 1 月から 12 月の間に国連 WFP 協会に寄せられた皆様からのご寄付は、合計で 8 億 6,190 万 1,399 円でした。そのうち 4 億 7,000 万円は 2014 年 12 月末までに国連 WFP ローマ本部に送金され、国連 WFP の活動に役立てられています。追加で 1 億 7,642 万 6,049 円を 2015 年 3 月に送金予定です。ご寄付の送金割合は右のグラフをご参照下さい。詳細はホームページ www.wfp.org/jp 内、国連 WFP 協会の「年次・収支報告」にてご覧いただけます。



注) ご寄付の 75%以上は国連 WFP ローマ本部に送金され、国連 WFP の活動に活用されています。ご寄付の 25% (上限) は、国内での募金活動、広報宣伝費、管理費等の運営経費に充てられています。